

MRI検査説明書(院外用)

当日は予定時間の30分前に来院し、受付をして下さい。

受付後は、外来受付窓口前でお待ちください。

1、MRI検査とは

MRI検査は放射線を使用せず磁気と電波を使用して体内の状態を撮影する検査です。検査台の上に横になり穴の開いた装置の中に入りますので閉所恐怖症の方はお申し出下さい。また撮影中は大きな音が出るため、耳栓を使用させていただきます。

2、MRI検査における留意点

①磁場の影響

通常MRI検査に用いられる磁場では、明らかな生物学的な影響はありません。ただし妊婦に関しては胎児に対する影響の安全性は確立されていないため注意が必要とされています。

最も危険なのは金属の持ち込みです。重大な事故になりかねますので、体についている金属類の持ち込みは禁止です。またペースメーカー類や人工内耳のある患者様は禁忌です。

その他、体内に金属がある場合には確認が必要ですのでお知らせ下さい。

②検査環境の影響

検査の種類によっては、撮影時間が長くなる場合があり、狭い場所で長時間体を動かさない事があります。閉所での不安が強い場合や体動が激しい場合は検査を中止することがあります。また、個人差はありますが、汗が出たり体温が上昇することがあります。

3、検査前の確認事項

下記の物を持ったまま検査を行うと破損するだけでなく危険を伴うこともありますので、検査前にもう一度、装着の有無を確認願います。

磁気カード、磁気製品、入れ歯、かつら、ミリオンヘアー、ヘアピン、ネックレス、イヤリング、ホック、チャックなどの金属片、時計、眼鏡、補聴器、小銭、ライター、湿布、カイロ、カギカラーコンタクトなど

※アイシャドウ、アイラインなどのメイクは画像に影響することがあるため落として頂くことがあります。